資料１－５

議題５　広報誌における大活字本の利活用について（小牧市提出）

市名	回答		
	（１）【作成している場合】 作成・活用している事例	（２）【作成していない場合】	
		（２） 作成予定の 有無	（２） 理由
名古屋市		×	特段要望がないため
豊　橋　市		×	低視力者に対しては、点字・音声による広報を配布しており、高齢者ついては、対象ページの文字を大きくするなど対応しているため。
岡　崎　市		×	特に要望がないため。
一　宮　市		×	編集時間と別途の予算確保が困難なことから、当市は現在、作成しておりません。今後の予定もありません。
瀬　戸　市	作成していない。	×	瀬戸市では、弱視者向けに、ボランティアさんに委託して、「声の広報」と「点訳の広報」を作成しており、そちらで対応しています。
半　田　市		×	※大活字本は１冊の内容を２、３冊に分けて印刷しなくてはならず、金額も割高になることなどから、今後も作成する予定はありません。
春日井市		×	活字について、特段市民からのご意見もないため、今後も作成する予定はありません。
豊　川　市		×	大活字本の代わりに、点訳・音訳の広報を作成し、希望者に配布している。
津　島　市	作成していない	×	当市の広報紙は毎月平均30ページ以上であり、大活字本を作成すればページ数の更なる増加とそれに伴う印刷費の増となるため。

資料１－５

議題５　広報誌における大活字本の利活用について（小牧市提出）

市名	回答		
	（１）【作成している場合】 作成・活用している事例	（２）【作成していない場合】	
		（２） 作成予定の有無	（２） 理由
碧　南　市	作成していない	×	コスト面の理由が大きいが、ニーズも把握できていない。
刈　谷　市	該当なし	×	・特に要望がない。 ・ページ数が増えてコストが割高になる。
豊　田　市		×	視覚障がいの方向けには音声版・点字版の広報を発行しており、現時点では作成の検討をしていないため。
安　城　市		×	紙媒体から電子媒体への移行・充実に力点を置き、新たな紙媒体の発行はできるだけ抑制したいため
西　尾　市		×	スマホ等の電子機器の利用が増え、アプリ等で読み上げや文字の拡大が利用可能となっているため
蒲　郡　市		×	費用等考慮し作成の予定はない。
犬　山　市		×	現状、未検討。
常　滑　市	作成していません。	×	現時点で要望がないため。
江　南　市		×	広報誌の大活字本を要望する意見がこれまでになかったため、ニーズを把握しておらず、費用の面からも作成予定はありません。
小　牧　市		×	現時点で未定のため。
稲　沢　市		×	ページ数が増えることにより、広報紙作成コストの増加や冊子重量が増加することによる行政区長の配布の手間が増えることが予測されるため

資料１－５

議題５　広報誌における大活字本の利活用について（小牧市提出）

市名	回答		
	（１）【作成している場合】 作成・活用している事例	（２）【作成していない場合】	
		（２） 作成予定の 有無	（２） 理由
新　城　市		×	ボランティアにより広報誌を読み上げた音声データを図書館に設置し対応しているため
東　海　市		×	年齢や障害などにかかわらず読みやすくデザインされたユニバーサルデザインフォントを使用しています。
大　府　市	作成していない。	×	級数を大きめとするなど、通常の広報紙で読みやすくする工夫をしている。
知　多　市		×	今後も予定はありませんが、視覚障害者や高齢者で希望される方に、ボランティアグループによりDAISY（国際規格）で録音したものを毎号提供している。
知　立　市		×	組み直し作業が必要なことや、ページ数が膨大になること、印刷が割高になることなどから、今後も作成する予定はありません。
尾 張 旭 市		×	声の広報を作成しているため
高　浜　市	作成していない	×	市民からのご意見もないため、そこまでの必要性を現時点では感じていないため。
岩　倉　市	当市では、A4版の広報紙に加え、公共施設などにA3に拡大した広報紙を設置している。		
豊　明　市		×	音訳ボランティアに作っていただいている「声の広報」があるため。

資料１－５

議題５　広報誌における大活字本の利活用について（小牧市提出）

市名	回答		
	（１）【作成している場合】 作成・活用している事例	（２）【作成していない場合】	
		（２） 作成予定の 有無	（２） 理由
日　進　市		×	声の広報（CD又はカセットテープから選択）を希望者に送付しており、代替手段をしているためです。
田　原　市	なし	×	視力に支障がある方向けに、広報紙（議会だより含む）の音読CDの配布（ボランティアが音読）を行っている。
愛　西　市		×	現時点で必要性を感じていない。読むことが困難な方へは、音声での広報を提供している。
清　須　市		×	予算の確保が困難なため
北名古屋市		×	市民からの要望がないため。要望があったとしても少部数発行となり費用面で負担が大きいため作成予定は無し。
弥　富　市		×	金額が割高になることから、今後も作成する予定はありません。
みよし市	作成していない	×	特に要望等もないため
あ　ま　市		×	現在のところ当該要望等はなく、また、ボランティアによる音訳で対応しているため。
長久手市	なし	×	